

立命館大学大学院
2025年度実施 入学試験

博士課程前期課程

文学研究科

人文学専攻/現代東アジア言語・文化学専修

入試方式	実施月	コース	専門科目		外国語 ※英語・中国語・朝鮮語のうちから 1科目を選択		
			ページ	備考	科目	ページ	備考
一般入学試験	9月	研究一貫	P.1~		英語	×	
					中国語	×	
					朝鮮語	P.3~	
	2月		×		英語	×	
					中国語	×	
					朝鮮語	×	
9月	高度探究	×					
2月		P.5~					
社会人入学試験	9月	研究一貫	×				
	2月		×				
	9月	高度探究					
	2月						
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	研究一貫	×				
	2月		×				
	9月	高度探究	P.1~				
	2月		P.5~				
学内進学入学試験	9月	研究一貫					
	2月						
	9月	高度探究					
	2月						
APU特別受入入学試験	9月	研究一貫					
	2月						
	9月	高度探究					
	2月						

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2025年度実施 入学試験
博士課程後期課程
文学研究科

人文学専攻/現代東アジア言語・文化学専修

入試方式	実施月	外国語 ※中国語・朝鮮語のうちから1科目と英語の計2科目		
		科目	ページ	備考
一般入学試験	2月	英語	×	
		中国語	×	
		朝鮮語	×	
外国人留学生入学試験	9月			
	2月			
学内進学入学試験	2月			

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2026年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2025年9月6日

博士課程前期課程 人文学専攻
現代東アジア言語・文化学専修

「専門科目」

全 2 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



文学研究科入学試験問題用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (現代東アジア言語・文化学専修)	前期課程	専門科目	<input type="checkbox"/> 研究一貫 <input type="checkbox"/> 高度探究		

【 問 題 】

下記の ① から ⑯ の語句より 5 つを選び、それらを用いて、東アジアの社会・文化の諸相について、自身の研究分野に引きつけて論じよ。また、解答を作成する際は、以下の 5 点に注意すること。

- (1) 使用する言語は「日本語」のみとする。
- (2) 選択した 5 つの語句を、解答用紙の所定欄に記入すること。
- (3) 解答した文章に適切な**タイトル**をつけて、解答用紙の所定欄に記入すること。
- (4) 解答した文章において、選択した 5 つの語句を**四角**で囲むこと。同じ語句を複数回用いる場合は、四角で囲むのは初回のみでよい。
- (5) 解答の字数は定めないが解答用紙の 3 分の 2 以上は記入すること (解答用紙の★記号が目安)。

— 記 —

① 余 華	② 南 次 郎	③ 『青い凧』	④ 朝 鮮 戦 争	⑤ フィルム・アーカイブ
⑥ 金 史 良	⑦ B I F F	⑧ 親 日	⑨ 市 山 尚 三	⑩ 朝 鮮 総 督 府
⑪ 陳 凱 歌	⑫ 『毎日申報』	⑬ ポストモダニズム	⑭ 反民族行為特別調査委員会	⑮ 北 野 圭 介
⑯ 植 民 地 主 義				

以上

以下の余白は、メモとして使用し、解答は「文学研究科入学試験答案用紙」に記入すること。

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2026年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2025年9月6日

博士課程前期課程 人文学専攻
現代東アジア言語・文化学専修

「外国語」(朝鮮語)

全 3 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



文学研究科入学試験問題用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏名
人文学専攻 (現代東アジア言語・文化学専修)	前期課程	外国語 (朝鮮語)	研究一貫		

問 1 次の文章を日本語に訳しなさい (解答は解答用紙に記入すること)。

김사량은 중일전쟁 이후 가속화된 일본 제국주의의 폭압 속에서 조선을 탈출하여 일본제국의 영향이 미치지 않는 중국 지역으로의 망명에 성공한 유일한 작가이다. 강점 직후 신채호가 중국 북경으로 망명하였고, 1920 년대에 조명희가 러시아 연해주로 망명했던 일은 있지만 이는 중일전쟁의 이후의 과시증화 된 일본의 상황에서의 망명과는 다소 달랐다. 중일전쟁 이후에 이육사가 북경을 통해 망명하려고 하였지만 일본의 점령하에 있었던 북경에서 망명에 실패하고 오히려 이 일로 체포되어 북경의 감옥에서 옥사하였다. 그렇기 때문에 김사량은 중일전쟁 이후 망명에 성공한 유일한 작가라고 할 수 있다.

김사량의 희곡 『호접』은 해방직후 남북 모두에서 각광을 받았다. 일제 말 많은 문학가들이 일본 제국주의에 협력을 하였던 반면에 김사량은 중국으로 망명하여 항일을 했기 때문에 대중들의 집중적인 조명을 받을 수밖에 없었다. 게다가 태항산에서 조선인과 중국인의 항일운동을 다룬 희곡을 창작하였기 때문에 더욱 주목을 끌 수밖에 없었다. 그리하여 이 작품은 해방직후 남북 모두에서 출판되거나 공연되었다.

이북에서는 언제 어떻게 공연되었는지 아직 밝혀진 것은 없지만 출판된 것은 남아 있다. 해방 1 주년을 맞이하여 1946 년에 희곡집을 발간하였는데 거기에 김사량의 희곡 『호접』이 다른 작가의 작품들과 함께 실려 있다. 하지만 1 년이 지난 후인 1947 년에 발간된 김사량의 작품집 『풍상』에는 이 작품이 실리지 않는다. 태항산에서 창작한 다른 두 편의 희곡 작품 「붓돌의 군복」과 『더빙이와 배뱅이』가 실린 것을 고려할 때 이에는 특별한 사정이 있었던 것으로 보인다.

김재용. (2009). 김사량의 『호접』과 비민족주의적 반식민주의. 한국근대문학연구,(20), 165-181.

問 2 次の文章を日本語に訳しなさい (解答は解答用紙に記入すること)。

아베 가오루(阿部薫)와 마치다 조사쿠(町田長作)는 1920, 30 년대에 식민지 조선에서 활동한 일본인 저널리스트들이다. 마치다 조사쿠는 1925 년에 『민중시론(民衆時論)』이란 월간 시사잡지를 경성에서 창간하여 사장이자 기자로 활동했고, 아베 가오루는 이 잡지사의 기자로 들어가 많은 글을 썼다. 『민중시론』사는 경성에 지사 겸 편집국을 두었고, 발행소와 인쇄소는 히로시마에 두어 이곳에서 인쇄하여 소포우편으로 조선에 들어오는 잡지였다. 이 잡지는 조선총독부의 여러 정책에 대해 대체로 비판적인 태도를 취했고, 때문에 여러 차례 수입이 금지되었던 것으로 보인다. 그것은 아베가 이 잡지에 실린 글들을 모아 책을 낼 때, 많은 부분이 삭제된 것에서 어느 정도 짐작할 수 있다.

아베 가오루는 1919 년 조선에 건너와, 1924 년부터 조선의 여러 잡지에 글을 쓰기 시작했다. 그는 『민중시론』에 들어간 이후에는 주로 이 잡지에 많은 글을 썼다. 마치다 조사쿠는 1881 년 일본 니이가타현에서 출생하여, 1908 년에 조선으로 건너왔다. 1925 년 2 월 시사잡지 『민중시론』을 창간하여 사장을 맡았다. 그도 1920 년대에는 『민중시론』지에 상당한 양의 글을 쓴 것으로 보이나, 현재로서는 일부가 남아 있을 뿐이다.

박찬승. (2017). 재조선 일본인 저널리스트의 조선통치정책론 비교. 한국사연구,(179), 271-311.

※試験終了後、ホッチキスで綴じること(太線の4箇所)

2026年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2026年2月8日

博士課程前期課程 人文学専攻
現代東アジア言語・文化学専修

「専門科目」

全 2 ページ

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない



文学研究科入学試験問題用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
人 文 学 専 攻 (現代東アジア言語・文化学専修)	前期課程	専門科目	高度探究		

【 問 題 】

下記の ① から ⑱ の語句より 5 つを選び、それらを用いて、東アジアの社会・文化の諸相について、自身の研究分野に引きつけて論じよ。なお、5 つの語句のうち、少なくとも 1 つは「*」の付された語句を選ぶこと（複数選んでも構わない）。

また、解答を作成する際は、以下の 5 点に注意すること。

- (1) 使用する言語は「日本語」のみとする。
- (2) 選択した 5 つの語句を、解答用紙の所定欄に記入すること。
- (3) 解答した文章に適切な**タイトル**をつけて、解答用紙の所定欄に記入すること。
- (4) 解答した文章において、選択した 5 つの語句を**四角**で囲むこと。同じ語句を複数回用いる場合は、四角で囲むのは初回のみでよい。
- (5) 解答の字数は定めないが解答用紙の 3 分の 2 以上は記入すること（解答用紙の★記号が目安）。

— 記 —

① 木蘭従軍*	② 張 元*	③ 『山海経』*	④ 坤 生*	⑤ ホモフォビア* (Homophobia)
⑥ 袁 珂*	⑦ 王 小 波	⑧ 異性愛規範	⑨ 秋 海 棠	⑩ 『西湖三塔記』
⑪ 男 性 性	⑫ 范 瑞 娟	⑬ 『浮出歴史地表』	⑭ 太 公 望	⑮ 蔡 楚 生
⑯ 同 志	⑰ 万 籟 鳴	⑱ 許 仲 琳		

以上

以下の余白は、メモとして使用し、解答は「文学研究科入学試験答案用紙」に記入すること。